

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

目 次

〈理事会報告 (2020 年 3 月 7 日)〉

■ 審議事項

- I 各種委員会の活動について
- II 第 31 回大会 (琉球大学) について
- III 日本カリキュラム学会会則と役員選出規程の修正について
- IV 選挙管理委員会報告 (次期理事及び代表理事選挙について)
- V J-STAGE での電子公開とそれに伴う利用許諾の取り扱いについて (公告案)
- VI 第 30 回京都大学大会の会計決算書について
- VII その他

■ 報告事項

- VIII 事務局報告

〈臨時理事会報告 (2020 年 4 月 12 日)〉

■ 審議事項

- I 第 31 回大会 (2020 年) と第 32 回大会 (2021 年) の開催方法について
- II 「第 31 回琉球大学 web 大会 (案)」について
- III 第 32 回琉球大学大会 (2021 年)

〈「日本カリキュラム学会研究奨励賞」候補者の推薦について〉

〈理事・代表理事選挙および総会の延期と理事選挙の投票期限の延長〉

〈事務局からのお知らせ〉

理事会報告 (2020 年 3 月 7 日)

定例理事会が 3 月 7 日 (土) 10 時から 13 時まで、Zoom を用いてのウェブ会議形式で開催されました。事務局 3 名を含む 20 名 (うち理事 18 名) の参加がありました。

■ 審議事項

I 各種委員会の活動について

1. 紀要編集委員会（研究奨励賞審査委員会含む）

安藤委員長より、資料に基づき、『カリキュラム研究』第29号に掲載する査読論文の査読過程ならびに結果、および、他の原稿も含めた編集の進捗状況に関する報告ならびに審議事項の提案があった。公開シンポジウムの報告については、パネラー2名の発表要旨も含めて掲載することとし、次号からも同様の取り扱いをすることとなった。

2. 国際交流委員会

近藤委員長より、資料に基づき、第31回大会における課題研究に関する報告ならびに審議事項の提案があった。また、工藤理事より、資料に基づき、大会時の課題研究Ⅳ「民主主義と国家の現状と課題——市民性教育の在り方を考える（仮題）」の発表者および発表テーマ、指定討論者、司会・コーディネーター、および、趣旨文について提案がなされた。提案に対して、趣旨文の中に「カリキュラム」「教育内容」などの用語を加えると良いのではないかという意見、および、課題研究のタイトルに関する意見が出された。本件については、出された意見をふまえながら国際交流委員会において検討し、決定することとなった。

3. 研究委員会

子安委員長より、資料に基づき、報告ならびに審議事項の提案があった。

まず、本日（2020年3月7日）開催予定であった研究集会については、「中止」ではなく「延期」とすることが確認されるとともに、可能な限り、予定していたテーマならびに登壇者については変更することなく開催したいということが述べられた。加えて、本日の理事会において新たな開催日程のめどを立てたいということと、例年11月の理事会の日で開催されている「秋のセミナー」と同日開催にしてはどうかという提案がなされた。本件については、「秋のセミナー」に関する広報・若手育成委員会の意見もふまえながら審議した結果、「秋のセミナー」と「研究集会」を合同開催する、あるいは並行して開催するという可能性も提案され、次期研究委員会と次期広報・若手育成委員会の意向を反映するかたちで進めることとなった。

続いて、大会時の課題研究Ⅰ「全国学力・学習状況調査が子どもとカリキュラムに及ぼす影響とその改善を考える——沖縄県の事例を参考に（仮題）」、同Ⅲ「教育内容論としてのカリキュラム研究再考——資質・能力論的／方法論的転回後の新章へ——（仮題）」の概要について、資料に基づき説明がなされた。課題研究Ⅰについては、以前に全国学力・学習状況調査について取り上げたときとの違いを明確にすることと、タイトルにある「子ども」という用語を趣旨文にも加えることが提案された。また、課題研究Ⅲについては、「方法論的転回」という用語の指す意味を趣旨文においてももう少し説明することの必要性が提案された。本件については、出された意見をふまえながら研究委員会において検討し、決定することとなった。

4. 広報・若手育成委員会

村川委員長より、資料に基づき、報告ならびに審議事項の提案があった。

まず、大会時の課題研究Ⅱ「カリキュラムの『不易と流行』を語るⅡ～学習指導要領に関連したカリキュラム研究の方法～（仮題）」のテーマや登壇者、趣旨文の案が提案された。タイトルや登壇者等については、提案の通りで進めることが確認された。趣旨文については、メイン登壇者でいらっしゃる水原克敏先生のご研究内容に関する記述をもう少し増やしてはどうかという提案がなされた。本件については、出された意見をふまえながら広報・若手育成委員会において検討し、決定することとなった。

続いて、理事選挙を控えていることから、「秋のセミナー2020」については選挙後に決定される新理事・新委員会によって企画・運営をした方が良いのではないかと提案され、提案の通りに進めることとなった。また、秋のセミナーについては学校の先生方も対象していることから大会の頃にはテーマや日程の概要が決まっていた方が良いということが述べられた。延期となった研究集会に関する提案もふまえて次回の日程ならびに進め方について審議した結果、「秋のセミナー」と「研究集会」を合同開催する、あるいは並行して開催するという可能性も提案され、次期研究委員会と次期広報・若手育成委員会の意向を反映するかたちで進めることとなった。

Ⅱ 第31回大会（琉球大学）について

上地第31回大会実行委員会委員長より、資料に基づき、「日時」「会場」「教室確保」「シンポジウム」「懇親会」「後援」「予算」「ホームページからの申し込み」「自主企画セッション」「理事会」について、報告ならびに審議事項の提案があった。

「日時」「会場」「教室確保」「シンポジウム」「懇親会」「後援」については、提案の通りに進めることとなった。次に、「シンポジウム」については、例年通り、「公開」のかたちで開催することが確認された。続いて、「予算」と関連して、「参加費」については沖縄県内で開催される研修会等の一般的な参加費の金額を勘案して、正規会員・臨時会員ともに3000円とすることが提案された。審議の結果、提案の通りに進めることとなった。「ホームページからの申し込み」について、事前参加申込、発表申込、発表要旨原稿提出に関するスケジュールが提案された。新型コロナウイルスへの対応（詳細については、後述する「Ⅶ その他」を参照）のため、発表要旨原稿提出期間を発表申込終了後からにすることが提案された。審議の結果、臨時理事会を開催する4月19日（日）以降に発表要旨原稿の受付を開始することが決定された。本件については、今後大会実行委員会で最終確認のうえ、会員に周知されることとなった。また、「自主企画セッション」については、前回大会と同様、2日目の課題研究終了後に開催する予定であることが報告された。

「理事会」については、2020年6月26日（金）の16時から開催することが提案された。審議の結果、次回の大会においては現理事会と新理事会を開催することが必要であることをふまえて、現理事会は2020年6月26日（金）の夕方に、新理事会は大会2日目のお昼に開催することとなった。現理事会については、那覇市内の会議室等で開催する方が便利ではないかと提案がなされ、開催時間とあわせて検討のうえ、決定することとなった。

課題研究については、1日目の午前中にⅠ「全国学力・学習状況調査が子どもとカリキュラムに及ぼす影響とその改善を考える——沖縄県の事例を参考に（仮題）」・Ⅱ「カリキュラムの『不易と流行』を語るⅡ～学習指導要領に関連したカリキュラム研究の方法～（仮題）」を、2日目の

午後にⅢ「教育内容論としてのカリキュラム研究再考 ― 資質・能力論的／方法論的転回後の新章へ ―（仮題）」・Ⅳ「民主主義と国家の現状と課題 ― 市民性教育の在り方を考える（仮題）」を開催することが確認された。

Ⅲ 日本カリキュラム学会会則と役員選出規程の修正について

松下代表理事より、資料に基づき、「会則改正」の日に関する追記事項、ならびに、「役員選出規程」第1条および第3条の記述について、条項の番号の修正の提案がなされた。審議の結果、提案された修正案を次回総会において提案することが承認され、次回総会において承認手続きをとることとなった。なお、今回の修正内容は形式的な修正に関するものであるため、紀要第29号においては現行の内容を記載するとともに、「但し書き」のかたちで、修正案内容を記載することが確認・承認された。

Ⅳ 選挙管理委員会報告（次期理事及び代表理事選挙について）

二宮事務局長より、資料に基づき、第1回選挙管理委員会議事録の報告があった。加えて、選挙スケジュール案および代表理事選挙に関する申し合わせについての提案がなされた。審議の結果、提案の通りに進めることとなった。

Ⅴ J-STAGEでの電子公開とそれに伴う利用許諾の取り扱いについて（公告案）

松下代表理事より、資料に基づき、審議事項の提案があった。「日本カリキュラム学会掲載論文等利用許諾基準」について意見交換がなされ、審議の結果、提案の通りに進めることとなった。

Ⅵ 第30回京都大学大会の会計決算書について

西岡第30回大会実行委員会委員長より、資料に基づき決算書の内容に関する報告があり、承認された。今後6月に行われる予定の監査の際に何か意見が出された場合には、その内容を理事会で共有し、必要に応じて審議を行うこととなった。

Ⅶ その他

松下代表理事より、新型コロナウイルスに関する今後の動き次第では大会の開催中止の可能性もあり得ることから、その対応について検討しておくことの必要性が提案された。本件について、意見交換の結果、現時点では判断材料となる情報が少なすぎるため、4月19日（日）10時から臨時理事会（ウェブ会議）を開催して検討することとなった。なお、4月19日までに大きな動きがあった場合には、改めて日時を調整のうえで開催することとなった。

また、以下の日程にて今後の理事会を開催する予定であることが確認された。

① 臨時理事会

日時：2020年4月19日（日） 10:00～

会場：ウェブ会議のかたちで開催

② 定例理事会

日時：2020年6月26日（金） 夕方

会場：那覇市内

③ 新理事会

日時：2020年6月28日（日） 午後

会場：琉球大学

■報告事項

VIII 事務局報告（後掲の「事務局からのお知らせ」を参照）

二宮事務局長より、「会員現況報告」「寄贈図書等一覧」「会計途中報告」について、資料に基づき報告があった。

臨時理事会報告（2020年4月12日）

臨時理事会が4月12日（日）10時から12時まで、Zoomを用いてのウェブ会議形式で開催されました。事務局3名を含む27名（うち理事25名）の参加がありました。

審議に先立ち、まず、上地理事（第31回大会実行委員会委員長を兼任）より、新型コロナウイルス感染症が拡大している現状を踏まえた大会参加に関わる参加者の感染リスクについての懸念と、大会運営に関する現状について、口頭で報告がありました。続いて、二宮事務局長より、上地理事（第31回大会実行委員会委員長を兼任）、松下代表理事、事務局の事前協議に基づいて作成された資料に基づき、「第31回大会（琉球大学）」（2020年）の現地開催の中止と代替案の提案がなされ、それに関する審議を行いました。

■審議事項

I 第31回大会（2020年）と第32回大会（2021年）の開催方法について

二宮事務局長より、「①第31回大会（琉球大学）の現地開催を中止する。第31回大会（2020年）については、「第31回琉球大学web大会」として規模を縮小し、開催する。」「②第32回大会（2021年）を琉球大学にて開催する。」という案が提案された。審議の結果、提案の通りに進めることとなった。

また、第32回大会（2021年）の開催時期については、現時点では6月の第4週を第一候補としつつ、状況を見極めながら検討・決定することが確認された。

II 「第 31 回琉球大学 web 大会 (案)」について

①公開シンポジウムと課題研究

二宮事務局長より、「第 31 回大会 (2020 年) の企画である公開シンポジウムと課題研究については、第 32 回大会 (2021 年) において開催し、「第 31 回琉球大学 web 大会」(2020 年) では公開シンポジウムと課題研究は実施しない」という案が提案された。審議の結果、提案の通りに進めることとなった。

続いて、今年度で現理事の任期が終わることをふまえて、次期理事体制のもとで実施される第 32 回大会 (2021 年) へと延期されることになった公開シンポジウムと課題研究をどのように行うかについての審議がなされた。審議の結果、「現理事会で企画されたテーマや登壇者を原則としてこのまま引き継ぐことと、現理事会の担当者が引き続きコーディネートや運営を行うかたちにするを現理事会の案として、新理事会に提案すること」「その提案を受けて、新理事会で、進め方を決定すること」となった。あわせて、テーマや登壇者の都合によっては今年度 (2020 年) の企画内容の修正が必要な場合が出てくる可能性も予想されることが考えられ、その際には柔軟に対応してゆくことが確認された。

②自主企画セッション

二宮事務局長より、「第 31 回大会 (2020 年) の自主企画セッションは中止とし、すでに申し込みをしている方には第 32 回大会 (2021 年) での発表をお願いする」という案が提案された。審議の結果、提案の通りに進めることとなった。

③自由研究発表

第 31 回大会 (2020 年) の自由研究発表については、会員の研究発表の機会を確保するという観点から、従来とは形態を変えるかたちで実施することが提案され、審議の結果、承認された。

また、現在、すでに募集されている自由研究発表の申し込み等は継続することとなった。なお、申し込み締切は 4 月 15 日、『発表要旨集録』の原稿提出期間は 4 月 22 日(水)~5 月 13 日(水)、大会プログラムの ML での配信と Web への掲示は 5 月下旬頃を予定することとなった。また、次に示す発表資料の提出期限については、上地理事 (第 31 回大会実行委員会委員長を兼任) と事務局で相談の上で、適切な時期を設定することとなった。

続いて、自由研究発表の申し込みをした会員については、発表要旨と発表資料の作成をともに義務づけることとなった (発表資料の作成をもって、従来は大会時に実施している口頭発表の実施に代える)。あわせて、発表要旨と発表資料はともに Web 上 (会員専用ページ) に掲載することとなった。なお、掲載する発表資料については、PDF 形式とすることが確認された。

発表資料を学会員以外には公開してもらいたくない発表者については、その旨を発表資料に明記していただけるよう、周知することとなった。加えて、以上の点を周知した上で、すでに発表申し込みを行っている会員については、以上の点をふまえたうえで発表申し込みを継続するか、取り下げるかの意思確認を行うこととなった。

自由研究の発表者のうち希望者については、Zoom 等によるオンラインでの双方向の発表機会を提供することとなった。ただし、オンラインでの双方向発表については、プログラム上での発

表時間の確保、および URL や接続 ID 等の掲載は学会で行うが、Zoom のアカウント取得、および当日の接続等の対応については発表者と参加者の責任で行っていただくこととなった。また、発表資料として実践記録などを動画で見せたい発表者については、発表資料に YouTube 等の URL を掲載したり、Zoom 等によるオンラインでの発表機会を活用したりしていただくこととなった。

④理事会および総会

今回の理事会については、Zoom を利用してオンラインで開催することとなった。具体的には、現理事会（定例理事会）を 2020 年 6 月 27 日（土）10 時から、新理事会を 2020 年 6 月 28 日（日）10 時から行うこととなった。

総会については、Zoom 等を利用できない会員がいらっしゃることを踏まえて、資料をメール等で会員に配信したうえで、意見収集の期間を一週間程度設定するかたちで進めることとなった。

⑤大会準備に関わる補足事項

大会準備に関わる補足事項として、以下の内容が提案され、審議の結果、提案の通りに進めることとなった。

- ・大会案内：ML を使ったメール配信と Web 上への掲載
- ・大会プログラム：ML を使ったメール配信と Web 上への掲載
- ・大会発表要旨集録：Web 上（会員専用ページ）への掲載
- ・発表資料：Web 上（会員専用ページ）への掲載

発表資料および Zoom の URL 等の掲載については、上地理事と事務局とで相談のうえで設定し、周知することとなった。

⑥大会参加者および参加費

「第 31 回琉球大学 web 大会」（2020 年）は会員のみでの参加とし、参加費は無料とすることとなった。また、「第 31 回琉球大学 web 大会」（2020 年）については、臨時会員の参加は認めないこととなった。

III 第 32 回琉球大学大会（2021 年）

公開シンポジウムと課題研究については、「現理事会で企画されたテーマや登壇者を原則としてこのまま引き継ぐことと、現理事会の担当者が引き続きコーディネートや運営を行うかたちにするを現理事会の案として、新理事会に提案すること」「その提案を受けて、新理事会で、進め方を決定すること」となった。また、自由研究発表と自主企画セッションについては、新たに募集を行うこととなった。

「日本カリキュラム学会研究奨励賞」候補者の推薦について

2019年度の規程改正により、研究奨励賞の応募の方法と締切が、「会員の他薦により、この賞に応募する旨、毎年10月31日(必着)までに、所定の推薦書により申し出る(著書ないし論文1部を提出)」となりました。会員のみなさまからの推薦を募集しておりますので、是非、応募ください。研究奨励賞についての詳細は、学会HPにて確認できます。

理事・代表理事選挙および総会の延期と理事選挙の投票期限の延長

すでに学会員の皆様にはメーリングリストを通じてお伝えをさせていただきましたが、2020年5月4日、新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言が対象地域を全国としたまま5月31日まで延長されることが決定されたことを受け、理事会にて審議(メール審議)を行った結果、理事・代表理事選挙および総会を延期することとなりました。具体的には、以下の方針にて進めることとなりました。

- ・ 理事・代表理事選挙については、今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考慮し、選挙管理委員会および理事会の判断にもとづき今後のスケジュールを決定する。
- ・ 理事・代表理事選挙の延期に伴い、5月8日(金)が期限となっている理事選挙の投票期限を6月5日(金)まで延長する。
- ・ 2020年度の総会は「第31回琉球大学web大会」(2020年6月27・28日)後に、総会議事をメール等で会員に配信し、意見収集を行う予定だったが、理事・代表理事選挙の延期に伴い、開催日時を延期する。なお、新たな開催日時については、あらためてHPやMLを通じて案内を行う。

また、理事・代表理事選挙および総会の延期に伴いまして、新理事会の開催も延期することとなりました。こちらにつきましても、新たな開催日時が決定しましたら、あらためてHPやMLを通じて案内をさせていただく予定です。

学会活動の中止・変更が相次ぎ、会員の皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、ご協力ならびにご理解を賜りますようお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

1. 会員現況報告(2020年3月1日時点)

■会員総数 726名(一般会員636名、学生会員82名、団体会員8件)

※連絡先不明者11名、会員一時資格停止者27名を含む。

【内訳】

新規入会者：6名

退会者：1名

一時停止資格者：27名

連絡先不明者：11名

2019年度からの新入会者：45名（一般：32名、学生：13名）

2020年度からの新入会者：2名（一般：2名）

2019年4月1日からの新入会者：43名（一般：30名、学生：13名）

■会費納入率（2020年3月1日時点）

2019年度：完納608名 未納89名 計697名 87.2%

2018年度：完納626名 未納26名 計652名 96.0%

※連絡先不明者11名含む、会員一時資格停止者27名除く。

■新規入会者（2019年11月1日～2020年3月1日）6名

	入会年月日	氏名	所属機関名	区分	推薦者
1	2019/11/12	松田 充	広島大学	一般会員	宮本勇一
2	2019/12/2	伊藤 博美	椙山女学園大学	一般会員	事務局
3	2020/1/9	幡野 順	所属非公開希望	一般会員	堀哲夫
4	2020/1/10	前田 敏章	所属非公開希望	一般会員	事務局
5	2020/1/31	田中 孝平	所属非公開希望	学生会員	事務局
6	2020/2/25	猪狩 佑太	東京学芸大学附属大泉小学校	一般会員	事務局

■退会者（2018年11月11日～2019年2月15日）0名

	退会日	会員名	所属機関名	会員種別
1	2020/2/18	佐藤 久恵	所属非公開希望	一般会員

2. 寄贈図書一覧（2019年11月11日～2020年3月5日到着分）

著者名	タイトル	出版社等	発行日	受領日
荒木寿友・藤澤文(編著)	道徳教育はこうすれば〈もっと〉 おもしろい:未来を拓く教育学と 心理学のコラボレーション	北大路書房	2019/12/20	2019/12/3
久田敏彦(監修)・ドイツ教授学研究会(編)	PISA 後のドイツにおける学力向上 政策と教育方法改革	八千代出版	2019/12/6	2019/12/23
荳阪直行・菊知 充・ 大平英樹・高橋英彦・ 松井三枝・今水 寛・ 大木 紫・前田貴記・ 村田 哲・山極 壽一 (著)	社会脳から心を探る:自己と他 者をつなぐ社会適応の脳内メカ ニズム	日本学術 協力財団	2020/2/10	2020/2/3

濱谷佳奈 (著)	現代ドイツの倫理・道徳教育に みる多様性と連携: 中等教育の 宗教科と倫理・哲学科との関係 史	風間書房	2020/2/15	2020/2/19
----------	--	------	-----------	-----------

3. 会計途中報告 (2019年4月1日～2020年2月29日)

収入の部

(単位: 円)

項目	予算額(円)	実績(円)
学会年会費	5,000,000	5,005,000
入会金	60,000	94,000
学会誌代・雑収入・利子等	50,000	33,034
第30回大会収入(除く補助費)	1,200,000	2,069,003
寄付	0	0
前年度繰越金	7,824,129	7,824,129
合計	14,134,129	15,025,166

支出の部

(単位: 円)

項目	予算額(円)	実績(円)
第30回大会補助費	1,000,000	1,000,000
第30回大会支出(除く補助費)	1,100,000	1,602,989
第29号紀要刊行費(含む発送費)	700,000	40,500
学会研究奨励賞費	0	0
会合費(交通費他)	1,300,000	617,263
事務局経費	150,000	59,875
事務局外部委託費	1,600,000	1,333,549
ホームページ委託運用費	250,000	152,800
財) 日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
教育関連学会連絡協議会会費	10,000	10,000
各種委員会経費		
紀要編集委員会 (研究奨励賞審査委員会を含む)	200,000	47,099
国際交流委員会	100,000	47,274
研究委員会	300,000	228,642
広報・若手育成委員会	300,000	59,742
(小計)	900,000	382,757
30周年記念事業費	3,000,000	3,008,988
理事・代表選挙経費	350,000	0

予備費	200,000	0
次年度繰越金	3,524,129	6,766,445
合計	14,134,129	15,025,166

※ 今期は、30周年記念事業による支出があったため、繰越金額は前年度7,824,129円であったのに対して、6,766,445円と、1,057,684円の赤字となっております。

4. 令和元年度（2019年度）分会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の会員の方は、納入をお願いします。2020年3月1日時点での2019年度会費の納入率は87.2%です。納入促進に、会員みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、前年度（2018年度）分までの年会費が未納の会員の方におかれましては、未納分の年会費の納入もあわせてお願い申し上げます。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく（株）国際文献社内・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。

（年会費：一般 8,000円、学生 5,000円、団体 10,000円）

【 入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先 】

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター（株）国際文献社内

日本カリキュラム学会会員窓口

Tel : 03-5389-6213 Fax : 03-3368-2822

E-mail : jscs-post@bunken.co.jp

【 上記以外の学会運営に関する問い合わせ先 】

〒640-8510

和歌山市栄谷 9 3 0 和歌山大学教育学部 二宮衆一気付

日本カリキュラム学会事務局

E-mail : jscs@nifty.com

【 学会ホームページ 】

URL : <http://jscs.b.la9.jp/>